

# 当別町庁舎建設基本構想を 策定しています

町では、「当別町庁舎建設基本構想（素案）」を策定し、老朽化が著しい役場庁舎の建て替えに関する基本的な考え方や方針、検討事項を整理しています。今月号では、その概要についてお知らせします。

## 新庁舎 整備の 必要性

当別町役場庁舎は1970年に建設され、改修・補修工事を重ねながら、50年以上利用されています。近年は老朽化が著しく、耐震基準も満たしていないため、災害時には対策本部の設置も危ぶまれる状況です。

大規模な改修や耐震化の工事には約10億円かかりますが、耐用年数が15年程度しか伸びず、業務を行いながらの改修工事も困難なことから、建て替えが有効な手段であると考えています。

これらの現状や、町内の課題解決、時代の潮流を考慮し、新庁舎整備の基本理念と基本方針を整理しました。

### 基本理念

町民生活の安全・安心を支える  
町の活性化に寄与する  
町の新たな顔となる

### 基本方針

まちづくりに寄与する庁舎  
災害に強く、危機管理拠点となる庁舎  
利用環境に優れたひとにやさしい庁舎  
環境に配慮し、長く有効的に活用できる  
庁舎  
当別町の魅力を発信する庁舎

## 建設 候補地 の検討

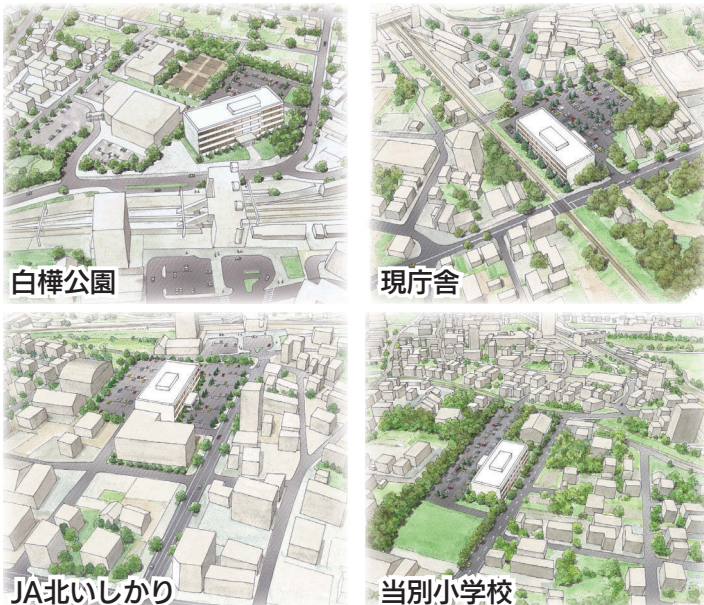
立地適正化計画における都市機能誘導区域内の町有地を基本として、新庁舎の建設候補地を4カ所想定し、以下の項目で評価しました。

#### 評価項目

浸水被害、緊急避難所（総合体育館）との位置関係、利便性と周辺の波及効果、交通アクセス、用地確保の容易さ、事業費、建設に要する時間、敷地・建物条件



#### イメージ図



※想定した規模で各候補地に現庁舎と同様の外観を当てはめたものであり、施設の配置、意匠、規模等は今後検討を進めます。

# 建設 規模と 機能

国土交通省基準や総務省要綱及び現庁舎の所要室を基本に、道内他市町村の事例を参考に新庁舎に必要な面積を積み上げて、試算面積を5,140㎡としました。

また、複合可能な施設・機能として、図書館、文化センター、金融機関を想定した場合の新庁舎の面積を、6,360㎡と試算しています。

## 想定される機能

- ・ 事務室
- ・ 付属所要室（会議室、倉庫など）
- ・ 固有業務室等（議場など）
- ・ 車庫
- ・ 業務支援室（相談室、印刷室など）
- ・ 設備関係（機械室、電気室など）
- ・ 交通部分（ロビー、廊下、階段など）
- ・ 町民交流スペース

# 事業 手法の 検討

庁舎を建設するための手法には、従来からの設計施工分離方式、民間事業者の資金調達やノウハウを活用できるPFI方式やリース方式など、様々な手法があります。

これらの手法を下記の観点から評価した結果、事業費削減効果や支払いの平準化、事業スピードや民間ノウハウの活用などから、リース方式の評価が高くなっています。

## 評価項目

選定期間、発注回数、事業スピード、事業者確保の余地、民間ノウハウの発揮余地、財源の確保、調達金利、事業費、事業の継続性、維持管理運営

## 事業手法の評価

### 従来方式

事業者・補助金の確保、業務の理解が得やすい利点があるが、民間ノウハウの発揮、事業費削減の点で劣る。

### PFI方式

民間ノウハウの発揮、事業費の削減等の利点はあるが、導入可能性調査に費用と業者選定に時間がかかる。町の規模では民間事業者の参入が難しい。

### リース方式

民間ノウハウの発揮、事業費の削減のほか、事業スピードが早くなる利点があるが、性能発注となるため仕様書作成に時間を要する。

# 今後の 検討 事項

今後は、有識者や住民による新庁舎建設検討委員会を設置し、設計条件を定める基本計画の策定を進めます。

## 今後の検討の流れ

※着工までの一般的な流れです

**基本構想** 基本理念・方針、庁舎機能、規模と候補地など基本的な考え方を検討。

**基本計画** 候補地や事業手法を確定、面積や設備、複合化施設など設計条件を設定。

**基本設計** 敷地や建物配置、設備、複合施設など建物規模を確定し全体図を作成。

**実施設計** 基本設計の内容から、工事発注のための詳細設計図を作成。

## 建替工事着手

■ 問合せ

事業推進課事業推進係 (☎ 23 - 3198)

## 基本計画で検討する事項

### 事業手法

事業費の圧縮と平準化のため民間活力の導入を含めた手法について検討。並行して活用できる補助金について検討を進め、町予算の縮減を図る。

### 建設候補地

災害時の拠点として敷地の安全性、緊急避難所との位置関係など、基本構想で検討した評価を基に確定。

### 建設規模

役場機能の精査を進め、他の施設との統合、分散を含め、住民の利便性とかかる事業費を併せて検討を進める。また、デジタル化や設備の多目的化による職務面積の縮減を図る。

### 必要機能

防災機能、職務機能、外構・複合化施設・その他機能の規模や、重複する機能等を整理する。複合化する施設についても住民・庁舎内意向を把握し、必要性、規模、機能をまとめる。